2014/ 7月5日記録

NPO ふくてっく定例会

司会 寺岡 会員

場所 NPO ぱあとなぁ若江事業所

*ぱあとなぁ代表 歓迎のあいさつ

13:30~

地村 代表

5 月から快適に過ごしています。もうすぐ活動を始めて 30 年になります。今日は限られた時間ですが、皆様と有意義な時 間にしたいと思います。

施設見学

13:35~

各自自由に施設内見学。地村代表から利用者から建具の開閉時重く感じるのだけど・・・中北さんに伝える。

中北 会員

・ぱあとなぁの皆さんへの簡単なふくてっく紹介(全体事項)を含めて⇒平成5年福祉機器・住宅研究会として発足。昨年 20年を迎えた。高齢者・障がい者の住宅改修を有償で行う団体でした。介護保険が始まり、民間での住宅改修が盛んになり、 ふくてっくがしなければならないことではなくなりました。ただ、民間の住宅改修のあり方に疑問がでてきています。東大阪 市からの委託事業として住宅改修適正化検証活動を始めて9年目になります。いろいろな部会の変遷を経て、現在会員数 40 名弱で、高齢化問題を抱えているふくてっくです。

・20 周年記念事業 報告(中北会員) ⇒8/2 に記念パーティーを開催します。20 年を振り返るパネルを制作する予定です。 *閲覧資料および書籍の紹介* 本日は省略

1. ふくてっくのつどい

14:00~14:10 ぱあとなぁ会員向けの説明を含む 小川 会員

高齢者、子ども、障がい児・者、あらゆる人達と一緒に、たくさんの新たな体験を実現することを楽しみに活動しています。 活動の根幹に『ものづくり』というテーマを持ち、いろいろな角度からアプローチをするとともに新たなチャレンジを続けて いきます。6月15日 林会員の畑で野菜狩りを楽しんできました。⇒**里山や畑など障がい者や高齢者、子どもたちにこの場** をどのように活用してもらえるか、まず、自分たちが真剣にかかわってその可能性を模索している段階です。

2. 東大阪部会

14:10~14:20 ぱあとなぁ会員向けの説明を含む

川北 会員

東大阪市から委託事業として高齢者・障害者の為の住環境のバリアフリー化を促進するために「東大阪市の改造費助成事業」 や「介護保険の住宅改修」の住宅改造・改修の計画内容と、その完成状況について専門的に踏み込んだ検証および指導に取り 組んでいます。

- ① 6月の東大阪における改造助成・介護住改の検証活動は4日間(6/5.12.19.26)延べ13名が活動しました。
- ② 東大阪市へ改造費助成事業の H25 年度報告書を納品しました。
- ③ 東大阪市改造助成事前相談会2回実施しました。
- ④ 6月21日10:00~12:00 大阪市社会福祉センター「活動検討会」開催、参加者7名、検証事例等について
- ⑤ 東大阪活動あれこれ・・・・「簡単にできる熱中症対策」 寺岡会員 ⇒ 娘さんが参加しているガールスカウトで教えてもら ったスポーツドリンクの作り方を紹介。材料:水 500CC、グラニュー糖大さじ 2、塩小さじ 1/4、レモン汁:適当。これ を良く混ぜて・・・高山おかきをお茶うけにいただきました。熱中症に気をつけて暑い夏を乗り切りましょう!

3. こむねっと事業部会

14:20~14:30

ぱあとなぁ会員向けの説明を含む

1. 福祉サービス第三者評価事業

高齢福祉部門

障害福祉部門

社会的養護施設部門(児童養護・乳児院・情緒障害児短期治療・児童自立支援・母子生活支援)

2. 地域環境整備事業 (福祉と地域環境を考える会) **⇒高齢者住改は民間に浸透してきているが、障がい者のための住改** は、まだまだやらなければならないことが多い。ハードとソフト両面から取り組んでいきたい。

地域密着型共生社会の完成に向けて、従前の福祉区分に拘らず、社会の"福祉力"向上を目指す。

住居と施設といったハードの区分概念も払拭して、広範囲の環境整備を担う。

- ・社会資源の調査業務 (既存建物の安全性・法的合成性・活用可能性調査)
- ・環境改善に向けた企画・設計および関係官署協議
- · 施工監理業務
- 施工実務
- ・環境と活動の維持保全業務 (SCP 運動)
- ・以上を包括するコンサルティング業務
- 3. その他外部連携 (こみゅにてい・ネットワーク)

⇒たかとりワークス事件報告。

ドーナツの穴・・・穴がなければ、ただの揚げパン。穴があるから熱が均等に伝わりふっくらとしたドーナツになる。穴は重 要だが、実態は、穴! これが、ふくてっくの理念だ!

休憩 10分

学習会·交流会

14:40~16:30

① ぱあとなぁ発足以来の経緯・今後の展望と課題

講話形式(資料)・質疑応答

30分

歴史:1986 年福祉作業所自立の家「つばさ」から始まる。当時、重度障がい者に選択の余地はなく、施設で過ごすことがあたりまえだったが、「そんなことは変だ」と思った佐藤賢一さんと親たちが、何の支援もない状況で、地域での一人暮らしを作業所で支えるという形で「ぱあとなぁ」は始まった。1993 年作業所「フレンズ」を開所。ヘルパー制度等なく100%ボランティアで支えられていた。同じ年に、知的障がい者と作業所を分けることを目的に「ラン」を開所。この頃から地村代表も参加。1997 年作業所「らくらくハウス」開所。当時の代表の谷健治さんの考え方は斬新で、多くの障がい者が共感を得て、地域で自立する人が増えた。代表の谷さんは、ただそこに暮らすだけでなく、障がい者のできる力を活かして、社会貢献をして、就労の喜びを得るための支援をしたいと言い続け、東大阪から全国、アジアへと様々な運動を行っていた人。障がい者支援施策が変わっても、思いとは反するものになっていることにはこれからも声をあげていきたい。1998 年自立支援センター「ぱあとなあ」を開所。作業所に通う人だけでなく、地域に暮らす障がい者のサポートセンターとして。2001 年NPO法人を得た。2002 年ヘルプセンター「TRY」開所。人材育成を行い地域の人たちを支えるために。ヘルパーは女性が多かったが、利用者には男性も多く、同性介助をするために、自分たちで学生たちを育成していった。2014 年もう一度原点の全ての障がい者が集える場として、ここを開所。障がいがあっても自分が生まれ育った地域で暮らすために、学校への働きかけも行っている。そこには、住まいや就労など様々な問題があるがこれからも積極的に取り組んでいきたい。ぱあとなあ発足時からいろいろとお世話になった 楠俊雄さんが2月に逝去。先輩が亡くなるのは仕方ないが、その思いは受けついでいきたい。

②ふくてっくとの協働課題について

パネルディスカッション形式

30 分

コーディネーター : 中北

ぱあとなぁ側パネラー :地村代表 山田君 あゆちゃん

ふくてっく側パネラー : 山本 曽我部

協働テーマ 1. 障害者の地域生活支援としての住環境改善⇒ショートステイの活用方法を皆で検討する

- 2. 障害者の就労支援⇒岡さんから串うちや袋詰め作業等があるからやる気なら言って!
- 3. NPO ぱあとなぁへの運営参加⇒ハードとソフトを絡めて協働していきたい!
- 4. 若江東に開設した事業所の場の活用
 - ・住宅改修の体験と実験の場⇒ものづくりの木工教室等
 - ・関係専門職の研修⇒ケアマネ研修をここで開催等
 - 市民啓発⇒防災避難拠点として地域に告知していきたい

山田君の悩み:2007年頚椎損傷で車いすを利用することとなり、入院中に住宅を改造して2009年に自宅に帰った。暮らしてみて初めて気づくいろいろなこと。障がい者の住宅改修にはOTや建築専門家などに早くから相談できればと思った。今、ハイツみたいなところで家を探しているが、バリアフリー住宅として紹介された物件は、玄関前が段差だらけ・・・。

③交流会

ボッチャ対抗戦

45 分

全員参加で大いに盛り上がった。ふくてっくは手を抜くことなく勝利!

④勝利チームの表彰

⑤記念撮影

5分

休憩 10分

ふり返りタイム

16:40~17:10

進行係:

*ふくてっく代表 謝辞

17:10~17:15

小川 理事長

短い時間でしたが、有意義な時間を過ごせたと思います。これからもいろいろなところで恊働していければと思います。

* 次回例会の司会予定 * 平成 26 年 8 月 2 日

司会:長岩会員

五十音順です。予定者の都合が悪い場合は、次の会員が担当となります。 予定:樋口会員 松本会員

* 次回以降の予定 *

·8月2日(土) 13:30~17:00 会場:ATC ITM棟11階 Hゾーン

■総会・20 周年記念事業

・9月6日(土) 13:30~17:00 会場:**弁天町オーク 200 生涯学習センター (旧弁天町市民学習センター)**

■学習会 テーマ未定